

謹賀新年

おちか  
こうみんかん 1月9日  
だより 第135号

今年も公民館事業をよろしく申し上げます。

第35回すってくろ広場開催!



12月10日(日)、離島開発総合センターに130名近くの参加者が集合し、子ども達と大人達が協力して餅つきを行いました。

餅つきで作られたおもちや、婦人会に準備していただいた雑煮に早速使用され、参加者全員に振る舞われました。

今では珍しい杵と臼を使った昔ながらの餅つきを体験して、子ども達は日本の伝統的文化と共同で作業することの難しさ、大切さを学ぶことができたのではないのでしょうか。

平成29年度熟年大学閉講!

12月6日(水)、浦幸一郎さんを講師に招き、第6回講座「折り紙教室」を開催しました。参加者の皆さんは悪戦苦闘しながらも折り鶴などの作品を見事に完成されていました。また、浦先生からは折り方の指導だけでなく、折り紙が脳に与える効用等についても講義していただきました。

翌週12月13日(水)の閉講式では、今年度全ての講座を受講された2名の方に皆勤賞が贈られました。続く「カラオケ忘年会」では、各々が自慢の歌声を披露したり、全員で「北国の春」や「人生いろいろ」を歌うなど大盛況のうちに催しを終了することができました。

今年度は多くの方に熟年大学を受講いただき誠にありがとうございました。来年度も魅力ある講座を企画しておりますので、皆様方のご参加を心よりお待ちしております!



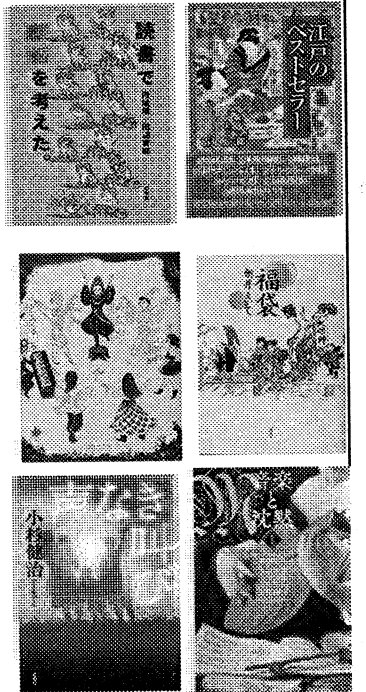
~図書館からのご案内~

== 新しく入った本 ==

[一般書]

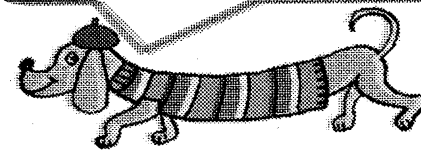
- ◆ 読書で離婚を考えた。 [円城 塔(他)]
- ◆ 江戸のベストセラー [清丸恵三郎]
- ◆ 心が元気になる美しい絶景と勇気のことば
- ◆ 戦国武将の病が歴史を動かした
- ◆ 反脆弱性(上・下) 一不確実な世界を生き延びる唯一の考え方 [ナム・コラス・ダリ]
- ◆ 世界を分断する「壁」~フォトドキュメント~ [アルカトラ・ガノス(他)]
- ◆ ブラック奨学金
- ◆ 貯金1000万円以下でも老後は暮らせる!
- ◆ 藤井恵のおつまみ献立 ~からだ喜び!~
- ◆ 生け雑草
- ◆ 言葉の大海へ ~『大言海』を愉しむ
- ◆ 俳句のための文語文法 実践編
- ◆ 福袋
- ◆ あなたならどうする
- ◆ 声なき叫び
- ◆ ドクター・デスの遺産
- ◆ 音楽と沈黙 (I・II)

[若林 利光]  
[サム・コラス・ダリ]  
[アルカトラ・ガノス(他)]  
[今野 晴貴]  
[山中 雅子]  
[藤井 恵]  
[小林南水子]  
[永島 道男]  
[佐藤 郁良]  
[朝井まかて]  
[井上 荒野]  
[小杉 健治]  
[中山 七里]  
[ローズ・トレメイ]



= しおり作り教室 =

- ◆ 1月5日(金)
- ◆ 午後1時30分 ~ (小学生以上)



★たんぽぽさんとダニエル先生のクリスマスおはなし会を開催しました!

ALTのダニエル先生にとっては、はじめてのおはなし会への参加でした。『Mouse Sumo(ねずみのすもう)』を読んでいたのですが、「Yah!」「Yoisho!」というセリフの所では、こどもたちも一緒に声を出すなど、英語にも関わらず楽しんでいました。

クリスマスのBGMを演奏しての読み聞かせや大型絵本、パネルシアターなどいつもとちょっと違うおはなし会。



遊遊句抄

12月【兼題】 枯野 雅炊

著ぶくれ(きぶくれ)

青鷺の一羽そり立つ枯野かな 著ぶくれの靴締めむとて大転び	いっせいに風が風呼ぶ枯野かな 飽きもせず温め雑炊朝餉かな	バス降りて反と道連れ枯野踏む 賑わった後の雑炊みな無口	かたづけしカンコ口棚のあと枯野 財布瘦せ頬膨らませ着膨れる	夕映えて薄ら紅注す枯野かな 飲み疲れ皆ゆふらりとおじや食ふ	枯野原登ってみたき本城岳 歌垣を風土記に記す枯野かな	斑路は光波打つ枯野かな 著ぶくれで予防接種もままならぬ	枯野原牛舎へ帰る母子牛 雑炊や疲れ身癒す昼餉かな	ガキの頃ほぼら雑炊一品ぞ きぶくれの旅人多しターミナル	利石	小梅	一穂	月歩	値賀助	虫砂男	紫紅	香松	松月
---------------------------------	---------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	--------------------------------	----	----	----	----	-----	-----	----	----	----

## 名もなきちよんまか甌穴たち…①



### 調査の動機

海岸清掃の日に、西目のごみ焼却場の先の草刈りと清掃を行いました。かって泳ぎを覚え、部落のスケッチ大会で絵を描いた海岸です。ここから眺める西の風景が好きです。

「ちよんまか玉石んあったばってな・・・」

懐かしそうに話す先輩と一緒に探してみると、あった、あった・・・ありました。昔のまんま、二つ並んで。(いくらか成長したかもしれませんが・・・)半世紀越えの再会に感激し、一瞬少年時代の甘酸っぱい思い出に浸りました。

そこで、「他の地域にもあるかもしれない。調べてみよう。」と思い立ったのが動機の一つです。そして、奇跡のようなめぐりあわせ、全くの偶然で生まれ、何百年何千年と長い年月をかけ甌穴として育ってきたのに、ただ「小さい」というだけで陽の目を見ない「ちよんまか甌穴たち」に光を当ててやろうと思ったのが二つ目の動機です。

### 調査の方法

- ① 公民館便りで、情報提供を呼びかける。
- ② 情報提供者の方に場所を案内していただく。
- ③ 写真撮影とともに、甌穴の大きさ(縦、横、深さ)と玉石の径(縦、横)を測定する。
- ④ 特徴など気づいたことを記録する。

### 調査の実際 まずは唐見崎甌穴

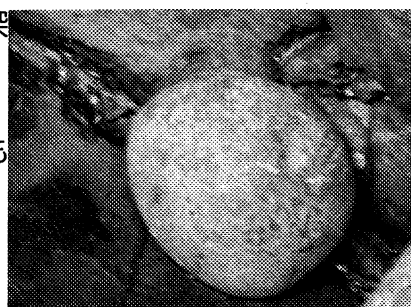
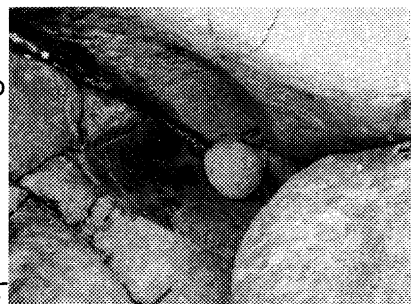
唐見崎公民館の脇から入り、防潮堤に守られた海岸際の道路をぐるっと歩くと、野首の野崎ダムが見えてきます。

「昔、運動会の日とか、ここで焚き火して野崎に知らせよったとよ。」案内の方から電話のない時代の苦労話を聞き、ほんの何十年か前にはそんな原始的な情報伝達方法だったのだと驚きました。

もうしばらく歩くと、沖の神嶋神社を正面に見上げるところに来ます。防潮堤が切れたところから海岸の岩場に出て、海へ向かったところを探すけどなかなか見つかりません。

「磯に来たとき、いつも見よったけどね・・・ここあたりやけど。」そう話した時です。「あったよ。」おおおーっ。甌穴。なんと言っても甌穴。小さくとも立派な甌穴。太古からの贈り物。測定してみると、甌穴の縦90、横56、深さ110。玉石の径21~22。(単位cm)

海水の浸入口が二か所あり岩の厚さから見ても、これから百年二百年またそれ以降もまだまだ成長しそうな甌穴でした。



## 初日の出

小値賀町には、夕日を眺めるスポットがいくつかあります。斑島のサンセットポイントは、観光地図にも載せられて、観光に訪れた人々はもとより島民の方々にも魅力的な場所となっているようです。他にも、大浦林田のゆうやけえんち、黒島園地の展望台、西の番岳、斑島園地、西目・大浦・浜津の海岸、大島の金毘羅山など、西の空に沈みゆく太陽を見送る場所に事欠かない小値賀町です。

昨年、斑島のサンセットポイントで、観光客の方が感動の叫び声をあげていました。オレンジに焼けた夕空と、真っ赤で大きく見える太陽が刻々と西の海に沈んでいく風景は、観光客のみならず島に住み慣れた人間にも感動を呼ぶものです。また、一日の終わりを告げ沈むゆく太陽は、何故かもの悲しく、もののあわれを感じさせ、精神的な面でも私たちに惹きつけます。ご年配の方々にとっては、西方浄土を連想させ、憧れを抱かせるのかもかもしれません。

一方、日の出つまり御来光に手を合わせるスポットは、聞いたことがありません。その理由は言うまでもなく、小値賀本島の東側に野崎島(お山様)が君臨し、三倍ほどの高さで遮っているからでしょう。「太陽は、野崎島から昇る。」小値賀島民にとってそれが当たり前だし、太陽神アマテラスのいずる島だからこそ、野崎島(お山様)に対する信仰心がより深くなったのかもかもしれません。(勝手な解釈です。)

一月一日の初日の出は、いつも番岳から手を合わせていました。山の頂上から見下ろすご来光のイメージです。「太陽は、野崎島から昇る。」それを当たり前のこととして、日の出時刻よりもやや遅れた初日の出を見上げて拝み、新しい年をスタートさせていました。結婚して子どもが生まれた後も、息子や娘や甥っ子を番岳に連れて行き、初日に手を合わせさせ、新年の目標を叫ばせたりしていました。

ある年の正月のことです。初日の出を拝み帰ってきた私たちに、二階の窓から姉がこう言ったのです。

「ここから見ると、ちょうど瀬戸脇から太陽が昇るよ。番岳まで行かんでいいよ。」

驚いて太陽をふりかえりその軌跡を辿ると、確かに瀬戸脇から顔を出したようです。なんと、我が家の二階が私たち家族にとって、初日の出を拝むベストスポットだったのです。その瀬戸脇の方向は、かって高い木が生い茂る雑木林だったため見えなかったのが、切り拓かれて見通すことができるようになっていたのでした。

その年以來、番岳には登らず我が家の二階から初日に手を合わせています。ちょっと手抜き感が否めませんが・・・

日の出は、それだけでワクワクしますが、初日の出となるとそのワクワク感はまた格別です。昨年をリセットし、これから始まる新しい年に向かって、期待や希望がみなぎって胸が大きく躍動します。なぜかしら、いいことがいっぱいありそうな気がするのです。

初日の出、あるいは初詣で、みなさんはどんなことをお祈りしたのでしょうか。

今年も、皆さまにとっていい年でありますように・・・。(^-^)

